



PRESS RELEASE

2018年6月25日

報道関係者各位

一般社団法人日本病院会
一般社団法人日本経営協会

今年も充実したホスピタルショウカンファレンスから一部をご紹介します 国際モダンホスピタルショウ 2018

2018年7月11日(水)～13日(金)
東京ビッグサイト(東京国際展示場) 東展示棟 4・5・6ホール、会議棟

一般社団法人 日本病院会／一般社団法人 日本経営協会は「国際モダンホスピタルショウ 2018」(WEBサイト：<https://noma-hs.jp/>)を7月11日(水)～13日(金)の3日間、東京ビッグサイトで開催します。300を超える企業、団体が、保健・医療・福祉分野における質の向上、日々の業務に役立つ機器、製品、システム、サービスなどを出展し、医療従事者を中心に8万人を超える来場者を見込んでいます。

今年はアメリカの「オシュナー・ヘルスシステム」で病院改革に取り組むミラニ博士をお招きし、「iPhoneやiPad、Apple Watchを活用したヘルスケア変革の実現」と題した本邦初の講演を開催いたします。アメリカ南部沿岸地域で最大の非営利大学医療センター「オシュナー・ヘルスシステム」における先進的な取り組みについてご講演いただきます。

他にも会期中はホスピタルショウカンファレンス(要事前登録)を連日開催します。注目のカンファレンスの一部をご紹介します。



■SPECIAL LECTURE

「iPhoneやiPad、Apple Watchを活用したヘルスケア変革の実現」

日時：7月12日(木) 13:30～15:00

会場：レセプションAホール

講演者：Richard V. Milani, MD, FACC, FAHA (ミラニ博士)

オシュナー・ヘルスシステムは新しいテクノロジーによって、ヘルスケアにおいて最も重要な存在である患者自身を中心としたケアの仕組みを作り出しました。電子カルテにiPhone, iPad, Apple Watchなどのデバイスを組み合わせ、入院時だけでなく退院後も患者ケアを継続するシステムなどを紹介します。

■日本病院会主催 公開シンポジウム

テーマ：「お薬の賢いのみ方を考える」

日時：7月11日(水) 13:30～16:30

会場：会議棟6階

座長：山元 恵子（日本病院会ホスピタルショー委員会委員 / 東京都看護協会会長）

渡辺 明良（日本病院会ホスピタルショー委員会委員 / 聖路加国際大学 法人事務局長）

東京都健康長寿医療センター研究所 研究部長 石崎 達郎氏による基調講演をはじめ、患者とその家族、薬剤師、かかりつけ医などそれぞれの立場の方から「お薬の賢いのみ方」をテーマに講演いただきます。

■日本看護協会 特別セミナー

日時：7月12日（木）10：00～16：45

会場：会議棟 6階

日本看護協会の特別協力により、4部構成にて日本看護協会特別セミナーを開催します。医療と患者さんを支える看護職の方向けに、看護の質の向上に役立つセミナーを充実させました。

ほかにも学識経験者や専門家による、IoT、ICT、AIなどを活用した新たな病院のあり方についての講演や国内における新たな国際医療への展開をテーマとしたセッションなど、多彩なテーマのカンファレンスを予定しています。

詳細およびセミナー参加の事前登録は以下の公式ウェブサイトをご覧ください。

WEB サイト：<https://noma-hs.jp/>

【来場に関するお問い合わせ先】

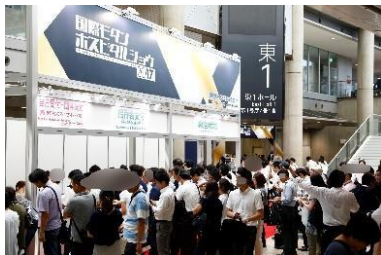
一般社団法人日本経営協会 ホスピタルショー事務局

TEL：03-3403-8615

FAX：03-5413-4327

E-mail：hsg@noma.or.jp

【昨年度 会場風景】



報道関係者お問い合わせ先

国際モダンホスピタルショー広報分室 株式会社ココノッツ
TEL：03-5213-4410 E-mail：noma_press@cocoknots.co.jp